

茶畑 SRtimes

発行元 宮城県仙台第一高等学校

科学の甲子園 仙台一高 A・B チーム

10 月 31 日に「第 10 回科学の甲子園～みやぎチャレンジ 2020～」が行われました。仙台一高からは A チーム(2 年生)8 人、B チーム(1 年生)8 人が出場しました。今年は新型コロナウイルス対策のため、事前課題が省略され、会場での課題のみの参加となりました。筆記課題は数学、情報、化学、生物、地学、物理の 6 科目、実技課題は投石機作成でした。そして、それぞれの課題のポイントの合計点で競いました。

※・実技競技…与えられた材料で課題とされる物を制作する。

今回は投石機を作成した。

・筆記競技…6 科目の問題をチームで協力しながら解く。



結果(B チーム)

実技競技 7 位、筆記競技 7 位、総合 7 位でした。

得点は以下の表のとおりです。

筆記競技

問題	物理	化学	生物	地学	数学	情報	合計	順位
満点	30	30	30	30	30	30	180	7
平均点	15.8	14.9	7.5	9.2	15.5	9.1	71.9	
得点	12	16	5	3	20	25	81	

実技競技

	合計	順位
満点	120	7
平均点	43.9	
得点	48	

総合

	総合点	順位
満点	300	7
平均点	115.8	
得点	129	



大会を通して学んだこと

様々な与えられた課題へのアプローチを通して、問題を解くために必要な論理的思考力、習ってきたことの応用力等を学ぶことが出来ました。また、単純に知識がなくて解くのが難しいことが多く、知識を身に付けることの必要性を感じました。しかしこの大会はチーム戦です。自分が分からなくてもチームのメンバーに聞いて解決したり、みんなで協力して 1 つの課題に取り組んだりといった場面が多く、仲間と協力することの大切さを学びました。

感想

今年はコロナのせいで例年よりも規模が縮小した形での実施でしたが、普段の学校の授業では出来ない様々な経験をする事ができました。結果は振るいませんでしたが、ここでした経験を活かしてこれからの生活を送っていきたいです。



祝！総合二位！

2年生8名は仙台一高Aチームとして出場し、総合二位という結果でした。一位を逃してしまったものの、実りある経験となりました。

筆記競技

物理・化学・生物・地学・数学・情報の6科目で行われた筆記競技では、基本的な知識が問われるものから、思考力・判断力が問われるものまで、幅広い問題が出題されました。単なる知識だけでは解けないような難問も多くありましたが、仲間と相談をしながら協力して解いた結果、ほとんどの科目で平均を大きく上回り、二位という好成績を収めました。



実技競技



輪ゴム・割り箸・プラスチックスプーンの3つの材料を用いて、ペットボトルキャップを飛ばす投石機の作成をしました。輪ゴムの弾性力を利用したものや、スプーンのしなりを利用したものなど、各々が個性ある投石機を作成しました。作成後は、投石の正確性を競う部門・高さを競う部門・距離を競う部門の3つに挑戦し、それぞれで好成績を残し、二位に輝きました。

《結果》

筆記競技	科目	物理	化学	生物	地学	数学	情報	合計	順位
	満点	30	30	30	30	30	30	180	
	平均点	15.8	14.9	7.5	9.2	15.5	9.1	71.9	
	得点	22	22	7	17	30	23	121	

実技競技		得点	順位
	満点	120	2
	平均点	43.9	
	得点	66	

総合得点		順位
満点	300	2
平均点	115.8	
得点	187	

感想

- ・辛かったこともあったが、その分やりがいもあった。
- ・筆記競技と実技競技はどちらも発想力が問われるもので、楽しむことができた。
- ・科学の奥深さ、面白さを知ることができた。
- ・一位は獲れなかったが、良い結果が残せたので良かった。
- ・自分の力を試すいい機会になった。ぜひ後輩たちにも積極的に参加してほしい。

後輩たちの挑戦を応援しています！

